



学校教育目標『しなやかな心の強さをもつ 鳴浜っ子の育成』
～ 大切な自分 大切なあなた ～

☆是非、学校ホームページをご覧ください。http://www2.sammu.ed.jp/naruhama/

校長挨拶

桜の開花とともに、令和7年度は、新入生10名を迎えて、全校児童84名でスタートしました。時間が経つのも早いもので、もう5月に入ります。子ども達も学校での生活に少しずつ慣れてきました。

ご挨拶が遅れましたが、私は令和7年度末人事異動により、この4月1日より山武市立鳴浜小学校の校長として着任となりました、田村幸春と申します。どうぞよろしくお願い致します。

さて、今年度の鳴浜小学校の学校教育目標は、昨年度と同様で「しなやかな心の強さをもつ 鳴浜っ子の育成」～大切な自分 大切なあなた～『わ』です。

「しなやかな心の強さ」とは、生活場面における様々な困難にうまく対応できる心の強さのことです。そんな心の強さをもち、次世代を担う「豊かな心とたくましく生きる力」を高め、みんなと協調や協働できる、頼もしい子ども達を育ててまいります。

合言葉は、「わあい」です。子ども達みんなで心を「わ」にして、「あいさつ」「ありがとう」「いいところ（さがし）」を頑張ってもらいたいと思います。

先日の授業参観・PTA総会・学年懇談会では、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。子ども達の学習に向かう姿を多くの方にご覧いただくことができたことは、大変うれしく思います。今後も、学校公開日の設定や「学校だより」「学年だより」及びホームページ、さくら連絡網等を活用した保護者や地域への積極的な情報発信に努めます。

最後に、新年度の新たな出会いを大切に、子ども達にとって安心して楽しいと思える学校づくりに、全教職員で取り組んでまいります。

今年度も保護者の皆様、地域の皆様の温かい励ましとご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



校長 田村 幸春

4月の行事から



4/8(月) 着任式・始業式

着任した先生方を2～6年生の児童で迎えました。児童会長 浅野天晴さんが児童代表歓迎の言葉を述べました。その後は、始業式を行い、在校生の元気な校歌が体育館に響きました。



4/11(金) 入学式

今年度は、10名の児童が入学しました。担任の先生からの呼名に、しっかりと返事をすることができました。児童会副会長 齋藤璃美さんが歓迎の言葉を述べました。



4/11(金) 生徒指導全校集会

新年度を迎え、2～6年生の児童が学校での過ごし方や友だちとの関わり方について確認しました。各学級でも話し合いの場面を設けました。



4/14(月) 避難訓練

地震、津波を想定した避難訓練を行いました。放送を聞くと素早く机の下にもぐり、落ち着いてグラウンドへ避難することができました。



【お知らせ】 PTA 会費は、年間 4,000 円となります。前期（5 月）後期（10 月）の 2 回に分けて 2,000 円ずつ徴収します。兄弟がいる場合は、兄弟のみとなります。

毎年4月は、いじめ防止啓発強化月間です。下記を参考に、ご家庭でも話題にしてみてください。

千葉県教育庁「学校から発信する家庭教育支援プログラム」より

<小学校>

3. いじめを許さない

どうしていじめが起きるのか、いじめを防ぐにはどうしたらよいかを家族で考えましょう。いじめの兆候に気づいていますか？

いじめのサイン発見チェックリスト ～こんなことがあったら要注意～

- ☐ 起きてこない。布団からなかなか出てこない。
- ☐ 朝になると体の具合が悪いと言い、学校を休みたがる。
- ☐ 家からお金を持ち出したり、必要以上にお金を欲しがったりする。
- ☐ 表情が暗く、家族との会話も少なくなった。
- ☐ ささいなことでイライラしたり、物にあたったりする。
- ☐ 自分の部屋に閉じこもる時間がふえた。
- ☐ パソコンやスマホをいつも気にしている。
- ☐ 理由をはっきり言わないアザやキズアトがある。
- ☐ 寝つきが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。
- ☐ 学校で使う物や持ち物がなくなったり、こわれたりしている。

「いじめ」をしていますか。

- ☐ 言葉づかいが荒くなる。言うことをきかない。人のことをばかにする。
- ☐ 買ったおぼえのない物を持っている。
- ☐ 与えたお金以上のものを持っている。おこづかいでは買えない物を持っている。

(千葉県教育委員会 保護者向けいじめ防止啓発リーフレットをもとに作成)

ご家庭でも折にふれ、話し合いをしてみてください。 ～自分も人も大切に思える子を育てるために心を育て、心をつなごう～

子供たちには、本当に「いじめは人間として恥すべき行為である。」としっかり理解させましょう。「善悪の判断」「他人の痛みを感じる」「思いやり」などの心をしっかり育みましょう。

《悪いことは悪いとしっかりしつけよう》

- ☐ やってはいけないことや間違っただけはしっかり正している。
- ☐ 子供に対して「自分の行動には責任がともなうこと」を話している。
- ☐ 自分の子供だけ良ければという考えはしていない。
- ☐ 思春期の子供から逃げずに正面から向かい合っている。
- ☐ どんな小さな変化でも、子供の言動を見逃さないように注意している。
- ☐ 身の回りの小さなことから、命や環境を大切にすることを育てている。
- ☐ 差別や偏見は許されないことを気づかせている。

《思いやりのある子供を育てよう》

- ☐ 家庭で生活のきまりやルールをつくっている。
- ☐ 低学年から手伝いなどを行わせ、責任感や自立心を育てている。
- ☐ 朝の「おはよう」からはじめて、礼儀を身につけさせている。
- ☐ 子供に我慢を覚えさせている。
→物の買い与えすぎは、子供の心をゆがめる。
- ☐ 家庭内の年中行事や催事を大切にしている。
- ☐ 祖父母を大切にする親の姿をみせている。
- ☐ 手助けの必要な人を思いやれるようにしている。
- ☐ 生き物とのふれあいを通じて、思いやりの気持ちを育てている。